

2026年度大学院博士前期課程学内選考試験問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	専修共通問題

哲学を専攻する者は、以下から4つの用語を選択し、その用語について150～300字程度で説明しなさい。なお、選んだ問題の番号をそれぞれの解答の最初に記すこと。

- ① 方法的懐疑（デカルト）
- ② アプリオリな総合判断（カント）
- ③ 定言命法（カント）
- ④ 自然状態（ホッブズ）
- ⑤ 自然主義的誤謬（G. E. ムア）
- ⑥ 危害原理（J. S. ミル）
- ⑦ 人格の同一性
- ⑧ 種差別（ピーター・シンガー）

歴史を専攻する者は、以下から4つの用語を選択し、その用語について150～300字程度で説明しなさい。なお、選んだ問題の記号をそれぞれの解答の最初に記すこと。

- ① ベルリン会議（1878）
- ② パン=スラヴ主義
- ③ クリミア戦争
- ④ バルカン問題
- ⑤ タンジマート（恩恵改革）
- ⑥ 露土戦争（1877-1878）
- ⑦ 青年トルコ革命（1908）
- ⑧ イエナ=アウエルシュテットの戦い
- ⑨ ティルジット条約（1807）
- ⑩ 『ドイツ国民に告ぐ』
- ⑪ 3B政策
- ⑫ 小ドイツ主義と大ドイツ主義
- ⑬ ドイツ関税同盟（1834）
- ⑭ フランクフルト国民議会（1848）

解答または解答例：

Answer Keys or Examples：

出題意図：
Intent of Questions：

哲学分野

<出題の意図>

大学院博士前期課程における勉学にとって重要となる哲学的な概念や理論の意味内容ならびに哲学的意義を正確に理解しているか、そして、その理解にもとづいてそれら概念や理論を明快に説明する能力を十分に備えているかを判定する。

<採点のポイント>

- ① 説明が概念や理論の正確な理解にもとづいているか。
- ② 説明が明快であるか。
- ③ 概念や理論の哲学的な意味内容や哲学的な意義が十分に説明されているか。

歴史分野

<出題の意図>

大学院博士前期課程の歴史学研究において求められる基礎的知識（用語や概念）の習得度を測るとともに、それらを具体的かつ明快に説明する能力を十分に備えているかを判定する。

<採点のポイント>

- ① 史実や通説等の正確な理解にもとづいた説明であるか。
- ② 具体的かつ明快な説明であるか。